

技術をオープン
橋梁やトンネルなど
インフラの劣化が問題
になる中、コンクリ
ートの補修技術に注目が
集まる。福德技研(広
島市中区、徳納剛社
長、0822・243・
5535)の「リハビ

劣化コンクリートを補修

「リ工法」は、コンクリートの対処できる工法。劣化原因そのも 協会組織を通じ、技術



空圧機器で高圧注入するタイプの「リハビリカプセル工法」の施工現場

をオープンにして普及を図っている。

トの表面に亜硝酸リチウムを塗って含浸させる方法が主で、再劣化

鉄筋コンクリートの劣化原因の大半を占めるのが、鉄筋がさびて膨張すること、砂利の周囲に生じたゲルが膨張するアルカリシリカ反応(ASR)の2点。これまでは、コンクリートの欠損部やひび割れをコンクリートなどで再び埋め戻す「対症療法」が中心だった。これに対し、リハビリ工法は、亜硝酸リチウムという薬剤を用いて二つの劣化原因に対処する。亜硝酸イオンが鉄筋のさびを止め、リチウムはASRの吸水膨張を抑える。以前は、コンクリートの表面に亜硝酸リチウムを塗って含浸させる方法が主で、再劣化が起きていた。福德技研は、圧力をかけてコンクリート内部に亜硝酸リチウムを注入する方法を開発。劣化の部位や規模などに応じ、6種類の工法を使い分ける。コンクリート構造物の延命に有効で、今後への期待も高いとして、2018年の「中国地域ニュービジネス大賞」を受賞した。

モノづくりの町

「広島はやはりモノづくりの町。広島だからこそ開発できた」と徳納社長。コンクリート

コンクリート建造物の補修・補強に関するフォーラム



さらに11年に全国組織の一般社団法人コンクリートメンテナンス協会として発展させた。同協会は「コンクリート建造物の補修・補強に関するフォーラム」と名付けた講演会を全国10カ所以上で開催するほか、見学会や技術研修も実施し、北海道から沖縄県まで約110社が加盟するまでになった。

トへの穴開け工具では、発にこぎ着けた。

興味深いのが、工法の普及方法だ。もともと同社は福德塗装工業といた、塗装工業を主力としてきた。10年に社名を福德技研に改名した。

トへの穴開け工具では、発にこぎ着けた。

110社が加盟

リハビリ工法の開発が進むにつれ、97年に施工業者など21社で広島県コンクリートメンテナンス協会を設立。(広島・清水信彦)

普及へ協会組織と講演会